

景観の名称	大山廃寺跡・児神社
景観の説明	7世紀後半に創建され、一時は「西の比叡山延暦寺、東の大山寺」といわれるほど隆盛を極めた大山峰正福寺の跡です。正福寺は1151年に三井寺の僧徒の焼き討ちに合い、その後再建されましたが15世紀中頃に途絶えたと言われています。写真の児神社は大山廃寺の南に位置し、焼き討ちの際に亡くなった2人の稚児の霊を鎮めるため1153年に建てられてものです。児神社の参道には100本近い桜も植えられており、桜の名所にもなっています。
景観の所在地	小牧市大山411外
撮影場所	児神社境内
撮影年月日	平成19年11月27日
	